

## 第3回プレカンファレンスのご案内

伊木繁雄

学術企画委員会委員長

国立感染症研究所 安全実験管理部 (National Institute of Infectious Diseases,  
Management Department of Biosafety and Laboratory Animal)

日本バイオセーフティ学会では、バイオセーフティトレーナーのためのトレーニングコース「Train the Trainer (TtT)」を開催します。TtTはバイオリスクマネジメントに係る技術向上を図り、より高度なバイオリスク管理やバイオリスクに関するアクティブ・ラーニング形式での教育訓練を行えるトレーナーとしての人材を育成する2日間のコースです。

対象は、事業所内においてバイオセーフティ管理を担当されている方、JBSAバイオセーフティ専門家認定者または同等の知識・技術をお持ちの方となります。

TtTでは、病原体取扱施設におけるバイオリスクについて自ら考え、他者の意見と統合し、必要な情報を伝達するトレーニングを実践することで、適切なリスク評価とこれに基づくバイオリスク管理技術及び教育訓練技術を習得することを目標とします。

コースを修了した方には、本学会における各種バイオセーフティに関わる教育訓練（講習会、プレカンファレンス等）の講師や調整者としての活動をお願いする場合があります。

TtTは年2回の開催を予定しています。今年度は初めて開催することもあり、学術集会の時期に合わせ、プレカンファレンスとして実施します（詳細は別添1をご参照ください）。

### 開催予定概要

- 開催日時：1日目 2023年11月22日（水）13:00～17:00  
2日目 2023年11月23日（木）9:00～17:00  
\*総会・学術集会 11月24, 25日
- 場所：戸山サンライズ大研修室A（東京都新宿区戸山1-22-1）
- 開催方式：対面（会場参加）
- 受講形式：グループディスカッション
- テーマ：実験室における検体の取扱（基本コース）
- 内容：リスク評価に基づくバイオリスクマネジメントとアウトプットの実践
- 定員：24名
- 参加費：会員 ¥20,000（総会・学術集会参加者 ¥10,000）  
非会員 ¥50,000（総会・学術集会参加者 ¥40,000）  
非会員・専門家講習受講者 ¥30,000（総会・学術集会参加者 ¥20,000）

請求書、領収書が必要な方は、第3回プレカンファレンス事務局までご連絡ください。

8-1. 振込先

銀行名：ゆうちょ銀行

支店名：〇一九店（ゼロイチキューウ店）

口座番号：当座 151869

口座名義：日本バイオセーフティ学会（ニホンバイオセーフティガクカイ）

振込手数料はご負担願います。また、参加者名が分かるようにお振り込み願います。

9. 参加申込：本案内に掲載の「参加申込書」にて10月31日（火）までに下記へ直接お申し込みください。先着順となります（定員になり次第締め切らせていただきます）。

申込先：一般社団法人予防衛生協会内第3回プレカンファレンス事務局

小野孝浩 柴田宏昭

TEL 029-828-6888 FAX 029-828-6891

E-mail：[jbsa-gakkai@primate.or.jp](mailto:jbsa-gakkai@primate.or.jp)

会場案内図（戸山サンライズ） <https://www.normanet.ne.jp/~ww100006/tizu.htm>

別添 1

## Train the Trainer (TtT)の概要と開催予定について

目的：

バイオセーフティ管理者を対象として、バイオリスクマネジメント技術の向上を図り、機関に応じた適切な管理業務及びアクティブ・ラーニングによる高度な教育訓練を行えるトレーナーの人材育成を行う。

目標：

1. 病原体取扱施設におけるバイオセーフティ、バイオセキュリティに関するリスク評価を行い、その結果に基づき対応方法を選択し適切なバイオリスク管理を遂行する。
2. バイオセーフティに関わるトレーニング技術を習得し、事業所内外における教育訓練に活用する。

受講対象者：

事業所内におけるバイオセーフティ管理者、JBSA バイオセーフティ専門家認定者または同等の知識・技術を持つと考えられる者。

コース概要：

アクティブ・ラーニングにより、リスク評価及びリスク管理についてのトレーニングを行う。検体取扱をテーマとする基本コースと、個別テーマ（曝露対応、施設・設備、バイオセキュリティほか）ごとに高度なバイオセーフティ管理技術及びトレーニング技術の向上を図る各論コースによる育成プログラムから成る。

TtT は年 2 回（基本コース、各論コース各 1 回）開催する。年度の初めは基本コースを実施する。1 コースあたり 2 日間で実施する（1 日目午後、2 日目午前・午後）。

定員：24 名

参加費：

会員 ¥20,000、非会員 ¥50,000（専門家講習受講者 ¥30,000）

企画と運営：

日本バイオセーフティ学会学術企画委員会（トレーニング（教育・訓練）ワーキンググループ）が行う。

実施計画

受講対象者	① 事業所内におけるバイオセーフティ管理者 ② JBSA バイオセーフティ専門家認定者または同等の知識及び経験を備えていると判断される者	
開始時期	2023 年（2023 年度はプレカンファレンスとして実施）	
実施回数	年 2 回（基本コース、各論コース 1 テーマを各 1 回）	
募集人数	最大 24 名（最大 6 名×4 グループ）	
内容	日程	2 日間（5 つのセッション）
	コース（予定）	基本コース：検体取扱 各論コース：設備設計、実験室管理（ソフト）、実験室管理（ハード）、実験計画（培養実験）、実験計画（動物実験）、アウトブレイク、ハードウェアトラブル、病原体輸送、バイオセキュリティ（デュアルユース）、人的問題、その他。
	方法	対面形式により実施。参加者がグループ内で司会を交代しながらディスカッションを行い、高度なバイオリスクマネジメント技術とトレーナーとしてのスキルを身につける。
	セッション	1. アクティブ・ラーニングの基本（座学） 2. 課題提示（実際的かつ現実的な模擬事例）、問題点の抽出とリスク評価及びリスク管理戦略の策定（グループディスカッション） 3. グループ間意見交換（メンバーチェンジ） 4. 各グループにおける意見統合 5. 発表、総合討論
	特徴	・参加型グループディスカッションにより自ら学びと気づきを得る。 ・発表やワールドカフェ形式のディスカッションにより、異なる複数グループでの議論を共有してより良い判断や方法を検討する。
受講料	会員：20,000 円 非会員：50,000 円（専門家講習受講者¥30,000）	

スケジュール（予定）

	時間	プログラム	内容
事前		アクティブラーニン の基本 ALの基本について事前学習	事前学習用資料を配布
1日目			
Section 1	13:00～15:00	・トレーニングの解説（AL のおさらい） ・演習 A の課題説明 ・自己紹介（全体）	
休憩	15:00～15:15		
Section 2	15:15～16:45 16:45～17:15	・グループ演習 A-1 ・グループ演習 A-2 ・グループ演習 A-3 ・演習成果の整理（グルー プ）	評価すべき要件についてグ ループごとに整理
2日目			
Section 3	9:00～9:30 9:30～11:00	・課題の最適な対応検討を 説明 ・グループ演習 B-1 ・グループ演習 B-2 ・グループ演習 B-3	演習 A の成果を基にしたリ スクマネジメントとトレ ーニングの方法を整理
休憩	11:00～11:15		
Section 4 (1)	11:15～12:15	・各グループからの発表	課題に対するバイオリスク マネジメント及びトレー ニングの方法について整理
昼食	12:15～13:15		
Section 4 (2)	13:15～14:45	・各グループからの発表	課題に対するバイオリスク マネジメント及びトレー ニングの方法について整理
休憩	14:45～15:00		
Section 5	15:00～17:00	・総合討論 ・まとめ	バイオリスク全般に関する 高度なマネジメント技術と トレーナーとしてのスキル の習得度および今後の課題 の確認

